

# 図書館だより

第20号 平成23年12月1日

袖ヶ浦市立中央図書館〒299-0262 袖ヶ浦市坂戸市場1393-2 Tel0438-63-4646

## 「信じよう、本之力」読書週間にちなんだ図書館の催し

10月27日から11月9日は読書週間でした。図書館では期間中とその前後に「著者を囲む会」「図書館まつり」「文芸講座」を開催しました。

### 【著者を囲む会】



沢木耕太郎先生を迎えて

今回の著者を囲む会は小説やエッセイなどで活躍されている沢木耕太郎先生を迎えて開催されました。最近行かれた上海で代表作「深夜特急」に魅せられた学生との出会いや、短編小説に取り組んでいる現在の様子のことなどをお話されました。

21年間取り組んでいるバカラの必勝法についてのお話では、敬愛する色川武大さんへの追悼から訪れたマカオでバカラにはまってしまいその必勝法について研究し、今では95%くらいは完成しているとのことでした。

「小説は自分の記憶の中に降りてその中を掘り進む作業である。」という言葉が印象に残りました。

### 【図書館まつり】



今年度の図書館まつりは10月15日(土)・16日(日)の2日間、中央図書館で開催しました。

音楽会や特別講座それに工作教室やおはなし会など多彩な内容でした。また袖ヶ浦高校の生徒さんの作品展示や手話や朗読など図書館で活動しているサークルの発表も行われ、多くの方に足を運んでいただきました。そのいくつかをここに挙げて紹介いたします。

←応援に駆けつけてくれたチーバくん



【あなたも作ろうぐりとぐら】

絵本「ぐりとぐら」の2匹を主役に、フェルトや画用紙で素敵な額を作りました。子どもたちは時間も忘れて取り組んでいました。



【おりがみ工作教室】

トトロやピカチュウなど子どもたちに大人気のキャラクターを懇切丁寧な指導で折りあげました。出来上がった作品に親子で大喜び。



### 【特別講座 「放射線と放射能」】

放射線とは何か、それが何故人体に悪影響を及ぼすのか、わかりやすく解説していただきました。信頼できる情報を集め、自分で判断することの大切さをお話いただきました。



### 【室内楽コンサート】

リストやモーツァルトなどのクラシックや、ポピュラー、映画音楽など、親しみやすい名曲をユーモアのある解説を交えて演奏していただきました。参加者からは、演奏がすばらしかったと好評でした。



### 【電子オルゴールを作ろう！】

木更津高専の先生の指導により電子オルゴールを作成しました。電子オルゴールキットを組み合わせ、最後にプログラミングされた曲を各自、演奏しました。電子音が、奏でる独特の音に参加者は、感動していました。



### 【オカリナ・コンサート】

「カナリアンズ」は平岡公民館で活動するグループサークルです。当日は、童謡を中心とした演奏。郷愁を誘うオカリナの音色が場内を満ちし、楽しくなごやかな雰囲気でのコンサートでした。

### 【ギャラリー展示】



1階市民ギャラリーで袖ヶ浦高校の書道部と美術部の作品展示をロビーと階段で行いました。日々の部活動の成果である作品を多くの利用者がじっくりと鑑賞していました。また閲覧室では古地図の展示や宇麻具多短歌会、篆刻サークルの作品展示も行い大変好評でした。

### 【文芸講座】

内容：「論語」にしたしむ ～その成立と内容～

講師：宮内克浩 國學院大学文学部准教授

中国の古典文学を取り上げるのは2回目。今年は静かなブームとなっている「論語」について講座を開催しました。宮内先生のユーモアあふれるお話の中にもキラリと光る知性が垣間見え、参加者の評判も良かったです。論語の素読では皆さん大きな声で読みあげられ先生もびっくりされていました。



# 特集：図書館の本の探し方 第1回

利用者の方から「園芸関係の本はどこ?」「環境問題のことがわかる本は?」などよく訊かれます。

図書館の本は分類ごとに並べられています。今回は図書館の本が棚にどのように並んでいるのかをご紹介します。これがわかると目当ての本がとても探しやすくなりますよ。

図書館では、日本十進分類表(NDC)という分類方法を使用しています。3桁の数字の100の位を0から9まで10個に分け(10区分)、さらに10の位を10個に分け(100区分)、さらに1の位を10個に分け(1000区分)、数字に意味づけをして体系づけています。

この分類方法は、多くの公共図書館で採用しています。

913.6	← 背表紙に貼ってある請求記号。上段は分類番号・下段は著者の頭文字を示しています。 例えば赤川次郎の小説なら日本文学「913.6」アカガワジロウの「アカ」が用いられます。(文学は900分類です。次回号で詳しく紹介します。)
アカ	

010	000分類は学問・情報科学・図書館・出版などについて書かれた本を扱っています。 凡例：000【学問・情報科学】 010【図書館学】 020【著作権・出版】 030【百科事典】 050【雑誌】 060【学術機関・博物館】 070【ジャーナリズム・新聞】 080【全集・叢書】 ※パソコンのソフトについて書かれている本も「情報科学」の仲間になります。 (例：図書館学の本 大串夏身著「図書館の可能性」010・オ)
オ	

100	100分類は哲学・心理学・宗教などについて書かれた本を扱っています 凡例：100【哲学】 110【哲学概論】 120【東洋の思想】 130【西洋の思想】 140【心理学】 150【倫理学・人生哲学】 160【宗教学】 170【神道】 180【仏教】 190【キリスト教】 (例：哲学の本 長谷川宏著「高校生のための哲学入門」100・ハ)
ハ	

210	200分類は歴史・伝記・地理などについて書かれた本を扱っています 凡例：210【日本史】 220【東洋史】 230【ヨーロッパ史】 240【アフリカ史】 250【北アメリカ史】 260【南アメリカ史】 270【オセアニア史】 280【伝記】 290【地理・ガイドブック】 日本の地理【291】 アジアの地理【292】 ヨーロッパの地理【293】 アフリカの地理【294】 北アメリカの地理【295】 南アメリカの地理【296】 オセアニア・両極の地理【297】 海洋【299】 (例：日本史の本 海音寺潮五郎著「日本歴史を散策する」210・カ)
カ	

320	300分類は政治・法律・経済・教育・軍事などについて書かれた本を扱っています 凡例：300【社会科学】 310【政治・行政】 320【法律・憲法】 330【経済・経営】 340【財政】 350【統計】 360【社会問題】 370【教育】 380【風俗・習慣】 390【国防・軍事】 (例：法律の本 田島信威著「法令用語ハンドブック」320・タ)
タ	

440	400分類は数学・理学・生物学・医学について書かれた本を扱っています 凡例：400【自然科学】 410【数学】 420【物理学】 430【化学】 440【天文学】 450【地学】 460【生物学】 470【植物学】 480【動物学】 490【医学・栄養学】 (例：天文学の本 渡部潤一著「天体写真でひもとく宇宙のふしぎ」440・ワ) 【次回号では500分類から900分類までをご紹介します】
ワ	

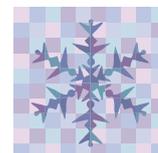
## 【冬の子ども向け行事のお知らせ】

### ・あそびにおいでよ！冬のおはなし会 ※予約不要です

平成23年12月4日（日） 会場：長浦おかのうえ図書館  
10：30～11：00〔2階 電算室〕「親子いっしょのおはなし会」4歳から小学生+保護者  
11：00～11：30〔2階 電算室〕「わらべうたであそぼう」0歳からのお子さんと保護者  
13：30～14：00〔3階大会議室〕「クリスマスカードを作ろう」小学生以上  
14：00～15：00〔3階大会議室〕「たのしいおはなし会」小学生以上

### ・冬のこども映画会

「ちいさなジャンボ」 12月10日（土）11：00～11：30【中央】  
「パールのクリスマス」12月25日（日）11：00～11：25【長浦】  
「ねないこだれだ」 1月20日（金）15：30～16：00【平川】



## 【お知らせ】

- ・年末12月14日（水）から12月27日（火）までの貸出期間は3週間となります。
- ・年末年始休館（12月28日<水>～1月4日<水>）は管理上ブックポストを閉鎖します。
- ・最近、本の水濡れが目立ちます。特に雨の日に本を濡らして返却される方が見受けられますので、袋に入れるなどして水濡れしないようご配慮の程、お願いいたします。

### 図書館カレンダー

白抜きの日が休館日です。  
開館時間 午前9時30分から  
午後6時まで

※公民館図書室は午後5時まで

#### 12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

#### 1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

#### 編集後記

早いもので平成23年も残すところあと1ヶ月となってしまいました。今年3月の大震災によってかつてないほどに私たちの価値観や生き方に対する大きな転換期になったような気がしてなりません。

まだまだ復興は道半ばであり、被災地の壊滅してしまった図書館が一日でも早くいつもの形に戻り、住民の方々が心豊かな生活を送れるよう願わずにはいられません。このようなときこそ本力を信じていきたいものです。